

[自治体が抱える課題と包括的民間委託導入で期待する効果]

「跨線道路橋の合理的な維持管理(予防保全)に関する取り組み」

[実施内容]

(1) 包括管理の実施内容

① 対象範囲

業務プロセス インフラ分野		日常 点検	定期 点検	軽微 補修	補修 設計	補修 工事
橋梁	跨線道路橋		①			
	その他 橋梁					
横断歩道橋 ・トンネル等						

① R7~R10年度

九州旅客鉄道株式会社との包括的維持管理協定を締結

対象跨線道路橋 全 54 橋

(鹿児島本線26 橋、日豊本線17 橋、筑豊本線6橋、日田彦山線5橋)

② 発注方式等

- 契約期間の複数年化 : 有 (4年)
※基本協定(複数年)と実施協定(単年度毎)を締結
- 性能規定の導入 : 無

(2) 民間事業者のノウハウ活用

【鉄道運行に係る調整の合理化】

- ・鉄道運行ダイヤを鑑みた合理的な定期点検の実施
- ・鉄道運行ダイヤ・保守作業時期との調整による軽微な修繕を実施

【跨線道路橋の状況を随時確認】

- ・列車巡視支援システム『RED EYE』等により、人による巡視の一部省力化と品質向上を図る

